

令和2年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

- ・安全・安心な教育環境を基盤に、児童生徒一人ひとりの人格を尊重し生命と人権を守る学校
- ・知識・技能及び思考力・判断力・表現力の向上、学びに向かう力の醸成により、校訓の「明るく・正しく・たくましい」児童生徒を育む学校
- ・本校がこれまでに培ってきた特別支援教育の歴史と伝統に裏付けされたスキルを継承し、時代のニーズに応えられる学校

2 中期的目標

- 1 生徒一人ひとりの特性に応じた指導・支援の充実
 - (1) 普通課程、生活課程に在籍する生徒の障がい特性をふまえた教育課程の編成及び効果的で適切な運用とクラス、学年を中心とした学校生活の充実
 - ア 担任力をさらに強化し、複数担任制による教員相互の連携を密にし、クラス担任が主力となって生活支援や指導、進路支援や指導をする。
 - イ 学年団（普通課程、生活課程）の運営の充実のため、各課程の指導体制の充実を図る。
 - (2) 堺支援独自のキャリア教育の推進
 - ア 生徒・保護者の思いに寄り添った進路支援の充実を図る。
 - イ 地域関連機関と協力、協働して支援体制を構築する。
 - ウ 「働くこと」を意識した実践的な体験学習を実施する。
- 2 心身ともに健康で安全・安心な学校づくり
 - (1) いじめゼロへ向けての生徒指導体制の構築
 - ア いじめ防止に向け、生徒の状況把握につとめ、学年をこえての連携体制をつくる。また養護教諭と教員の連携を密にする。
 - イ 生徒指導部と保護者と連携しいじめ防止活動、スマホ安全利用など、生徒が安心して学校生活を送るための取組みをすすめる。
 - (2) 公共心を育て、個々の可能性を引きだし育てる活動の充実
 - ア 自分が学ぶ場所は自分たちできれいに保つ気持ちを養うために、期末、学年末に校内清掃を実施する。
 - イ 朝のあいさつ運動を継続し、生徒会選挙を通じて政治的素養を養う。
 - (3) 学校の危機管理体制の充実
 - ア 災害訓練を徹底し、生徒の保護者引き渡し訓練などよりいっそう実践的な訓練を行うとともに、危機管理体制を強固なものとする。
- 3 地域等との連携強化と情報発信、支援学校の将来を創造する人材の育成
 - (1) 地域と連携した教育の推進と堺の歴史や文化に親しむ。
 - ア 「仁徳陵をまもり隊」による「仁徳陵」周辺の清掃活動、や「さかいホテルプロジェクト」の協力団体としての「カワニナ」の養殖など堺独自の取り組みに参加し、地域とのより一層強固な連携を図る。
 - イ 堺市立障害者スポーツセンター及び大阪府障がい者交流促進センター（ファインプラザ）と連携し、教職員の交流、教員の障害者スポーツの専門性向上、スポーツセンター施設活用などを積極的に推進し、障がい者スポーツの理解と振興を図る。
 - (2) 次世代を担う教員の育成
 - ア 本校の状況や地域性等をふまえ、バディ制度を活用した、実践的な堺支援版「初任者研修」を充実させる。
 - (3) 学校からの積極的な情報発信
 - ア 児童生徒や支援学校への理解・支援が広がるよう、学校ホームページの充実を図る。
- 4 働き方改革を目的とした、職場環境の改善
 - (1) 校内組織の見直しを行い、教職員の職場環境の改善を図る。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和 年 月実施分]	学校運営協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 生徒一人ひとりの特性に応じた指導・支援の充実	<p>(1) 生徒の障がい特性をふまえたクラス、学年を軸とした学校生活の充実</p> <p>(2) 堺支援独自のキャリア教育の推進</p>	<p>(1)</p> <p>ア 担任集団力、学年集団力の充実 各クラスで生徒の状況把握の徹底や情報共有のため、毎日担任連絡会を行うとともに、学年主任は毎日各クラスの状況を収集して把握する。</p> <p>イ 普通課程と生活課程の指導体制の連携を図る。</p> <p>(2)</p> <p>ア 「なにわの伝統野菜」等を栽培し、購買意欲を増すような工夫を加え堺支援の職業(園芸)の特産品にする。また、自分たちで作る喜びを体験することや、職業の学習を中心に校外のアンテナショップに出店し、販売することで就労への意欲を高める。</p> <p>イ 本人や保護者の思いに寄り添った進路指導の充実を図る。</p>	<p>(1)</p> <p>ア 教育自己診断・保護者用アンケートにおいて、「学校では教職員が協力しあって子どもの指導や学校運営にあたっている」の肯定率 95%以上を継続する。(R1 96%、H30 90%、H29 89%)</p> <p>イ 担当する課程を入れ替える教職員を各学年で3名以上とする。また、両課程の授業をそれぞれの教職員が担当できるように、学年で工夫し、授業担当者を決める。</p> <p>(2)</p> <p>ア 「田辺大根」などを栽培し、野菜特売で地域の方々に販売する。また堺東商店街での「ガシ横マーケット」に年2回以上出店する。老人施設などでの販売を年2回以上実施する。 Gコースの生徒が、老人施設等での実習を1人2日以上実施する。</p> <p>イ 教育自己診断・保護者用アンケートにおいて、「学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている」の肯定率を90%以上にする。(R1 90%、H30 90%、H29 80%)</p>	
2 心身ともに健康で安全・安心な学校づくり	<p>(1) いじめゼロへ向けての生徒指導体制の構築</p> <p>(2) 公共心を育て、個々の可能性を引きだし育てる活動の充実</p> <p>(3) 学校の危機管理体制の充実</p>	<p>(1)</p> <p>ア 生徒・保護者からの情報を得る。</p> <p>イ 生徒指導部を中心として、生徒の状況の把握など校内各部署の連携を積極的にすすめ、組織として対応していく。</p> <p>(2)</p> <p>ア 定期的に校内清掃を実施することで、自分たちが学ぶ場所は自分たちできれいに保つ気持ちを養う。</p> <p>イ 生徒会活動の活性化を図る。 生徒会を中心とした朝のあいさつ運動を継続・充実させる。 生徒会選挙を通じて政治的素養を養う。 生徒会として自主的な活動を実施する。</p> <p>(3)</p> <p>ア 実際の訓練を行い、生徒、教職員、保護者のすべての防災意識を高め、危機管理体制を強固なものとする。</p>	<p>(1)</p> <p>ア 日々の生徒指導や保護者連絡等において早期に状況を把握し、また「いじめ」アンケート等を活用して、いじめと認定する事案を0件とする。</p> <p>イ 生徒指導部、養護教諭、部主事の連絡会議を月1回程度行い、生徒の実態を把握し、特別指導委員会やいじめ対策委員会に繋げる。 教育自己診断・保護者用アンケートにおいて「学校はいじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」の肯定率を95%以上にする。(R1 93%、H30 92%、H29 82%)</p> <p>(2)</p> <p>ア 学期末、学年末に校内清掃を実施する。 また、PTAと一緒に校内清掃を年2回以上実施する。</p> <p>イ あいさつ運動を継続することで、現場実習等で自主的にあいさつする生徒や場に応じたあいさつができる生徒を増やす。 堺市選挙管理委員会から投票用の器材を借りて、本校の生徒会役員選挙を実施し、選挙への意識を高める。 生徒会役員が中心になって楽しい学校づくりに向け、新しい活動を実施する。</p> <p>(3)</p> <p>ア 災害時の緊急引き渡し訓練を年1回実施し、訓練への保護者の参加率を増加させる。(R1 28%、H30 30%、H29 26%) 高等部で年間1回以上は、防災センターでの校外学習を実施する。</p>	
3 地域等との連携強化と情報発信、支援学校の将来を創造する人材の育成	<p>(1) 地域と連携した教育の推進を図る</p> <p>(2) 次世代を担う教員の育成</p> <p>(3) 学校からの積極的な情報発信</p>	<p>(1)</p> <p>ア 「さかいホタルプロジェクト」への参画</p> <p>イ 仁徳天皇陵古墳清掃活動への参加</p> <p>ウ 堺市立障害者スポーツセンター及び大阪府立障がい者交流促進センター(ファインプラザ)と組織的に連携し、相互の教職員の交流を深める。 障がい者スポーツを体験することで理解を深め、生涯スポーツに繋げる。</p> <p>(2)</p> <p>ア バディ制度を活用し、実践的な初任者研修の充実を図る。</p> <p>(3)</p> <p>ア ブログでの情報発信の充実を図る。</p>	<p>(1)</p> <p>ア 「ホタル観賞会」への児童生徒や保護者の参加者数を100名以上とする。(R1参加者100名、)</p> <p>イ 年2回の清掃活動への児童生徒・保護者・教職員の参加者数を昨年度の10%増とする。(2回目中止のためR1参加者30名、H30 70名、H29 65名)</p> <p>ウ 准校長、首席、体育科教員とそれぞれのセンターの職員からなる連携協議会において、計画・立案し、年3回以上の連携研修等を実施する。 「ポッチャ」の教職員向けの研修を行い、授業に取り入れることで、中学部・高等部の生徒への周知を図る。また、スポーツセンター及びファインプラザの指導員による取組みを年2回以上実施する。</p> <p>(2)</p> <p>ア 教育自己診断・教職員用アンケートにおいて、「初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれている。」の肯定率を80%以上にする。(R1 80%、H30 73%、H29 76%)</p> <p>(3)</p> <p>ア ブログの内容を充実させ、年間50回以上更新する。(R元年度50回)保護者アンケートの「ホームページは学校の状況をよく伝えている」の肯定率を90%以上にする。(R1 81%、H30 82%、H29 81%)</p>	
4 働き方改革を目的とした職場環境の改善	<p>(1) 校内組織の見直しを行い、教職員の職場環境の改善を図る。</p>	<p>(1) 校務分掌を再編し、合理化・効率化を図り、教職員の適正・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担を図る。</p>	<p>(1) 教育自己診断・教職員用アンケートにおいて、「教職員の適正・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある」の肯定率を70%以上にする。(R1 63%、H30 68%、H29 63%)</p>	

